						年	度	20	020年	度
	(授業概要			45分換		科目:	コード			
<u> </u>	受業科目名		授	受業形態	<u> </u>		学科	<u> ・ コ-</u>	ース	
フレッ	シュマンセ	ミナー	講	義・演	习		コン	ピュー	タ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間	引数	単位	立数		担当	教員	
1	前期	必修	3	0	- -	1		石野 吉田		
授業の目的										
を意識し、基グループで考	本的な生活態	の学生として 度を身につける とで、クラスフ) _o							うじ)
授業の概要	d 1 2 /	H to Art 1 I to	1.64 h	2 10 5) T (- -)	1		
		燥り返す中で、	楽しみ 	ながら 	浴情コ 	ンセブ	トを埋 ^が 	解する。 		
成績評価の 出欠席や積極		ナス						the to	- h mA	
山八川八州	正なこて計画	y ′ω ₀						期末		0%
								課	題	0%
使用テキス	ト・教材									
・行うアクテ	ィビティに応	じて教材を作品	え(自作	≣)						
授業内容・授	受業計画									
			時間数							時間数
1日目オリエンテ	ーション(挨拶丼	(導・自己紹介)	4							
実習(クラス対抗			2							
2日目実習(クラ			6							
3日目実習(クラ			8							
学校の説明、学生 後藤先生の「心の		少説明	2							
クラスごとの企画			$\frac{2}{6}$							
) / / C C VIE	븨		О							
										<u> </u>
その他				関連	科目					

年 度 2020年度 科目コード C-G02 **シラバス (授 業 概 要)** 時間数は45分換算 授業科目名 学科・コース 授業形態 キャリアディベロップメント I 講義・演習 コンピュータ科 履修学年 時間数 単位数 担当教員 履修学期 必修・選択 石野 真明 後期 必修 1 30 1 吉田 幸央 授業の目的・目標 社会生活を送る上での基本的なコミュニケーションスキルと態度・考え方を知る。 授業の概要 コミュニケーションの3つの基本的な考え方とスキルを訓練する。 コミュニケーションスキルの自己の強みと弱みを知る。 成績評価の方法 出欠席や積極性などで評価する。 期末試験 0% 課 題 0% 使用テキスト・教材 キャリアデザインワークショップⅡ、ザ・コミュニケーション 授業内容・授業計画 時間数 時間数 BCSA診断 2柔軟性 2 コミュニケーションの基本 コミュニケーションの基本(復習) 4 心理的環境の管理 2 実行力・ストレスコントロール力 2 表現方法の調整 2質問の活用 2 相手からのメッセージへの対応 2 物理的環境の整備 2 社会人基礎力の理解,働きかけ力 2傾聴力・状況は握力 2 発信力・主体性 2 問題発見力・計画力 2 その他 関連科目

年度2020年度科目コードC-G03

シラバス (授 業 概 要)

時間数は45分換算

授業科目名 授業形態 学科・コース

キャリアディベロップメントⅡ

講義・演習

コンピュータ科

履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位	数	担当教員
2	後期	必修	30	1		渡邉 尚明 吉田 文昭

授業の目的・目標

・社会生活を送る上での基本的なコミュニケーションスキルと態度・考え方を知る。

授業の概要

- ・コミュニケーションの3つの基本的な考え方とスキルを訓練する。
- ・コミュニケーションスキルの自己の強みと弱みを知る。

成績評価の方法

出欠席や積極性などで評価します。

積極性

50%

出欠席

50%

使用テキスト・教材

「キャリアデザインワークショップⅡ」ウチダ人材開発センタ

授業内容・授業計画

	時間数	l I	時間数
1年次の振り返り	2		
社会人基礎力の応用(実行力)	2		
社会人基礎力の応用(柔軟性)	2		
社会人基礎力の応用(発信力)	2		
社会人基礎力の応用(働きかけ力)	2		
社会人基礎力の応用(状況は握力)	2		
社会人基礎力の応用(計画力)	2		
社会人基礎力の応用(主体性)	2		
社会人基礎力の応用(想像力)	2		
社会人基礎力の応用(ストレスコントロール力)	2		
社会人基礎力診断	2		
グループワークによるコミュニケーションスキルアップ	8		

その他

関連科目

就職活動をスムーズに行う。

・就活ゼミII、教養ゼミIV

年 度 2020年度 科目コード C-G04 シラバス(授業概要) 時間数は45分換算 授業科目名 学科・コース 授業形態 就活ゼミI 講義・演習 コンピュータ科 履修学年 必修・選択 時間数 単位数 担当教員 履修学期 石野 真明 後期 必修 1 30 1 吉田 幸央 授業の目的・目標 就職活動をスムーズに行うための基礎知識を身につける。 授業の概要 自己表現をすることと、希望の会社・団体ついて学ぶことをバランスよく行う。 成績評価の方法 出欠席や積極性などで評価する。 期末試験 0% 課 題 0% 使用テキスト・教材 ・Career Guidebook 2020 (沼津情報・ビジネス専門学校オリジナル) 授業内容・授業計画 時間数 時間数 働くということ・社会人としての自覚 2電話、面接での問い合わせ 2 自己分析・自分の魅力探し 履歴書の書き方 4 面接の仕方 就職活動動の流れと本校における 内定後の過ごし方 提出書類の確認・就職コーナーの活用 2 Webサイトでの情報収集 2 業界研究 • 企業研究 2 求人票の見方、給与・保険制度 2職種研究 2 筆記試験対策 $\mathbf{2}$ 会社説明会 2 その他 関連科目

2020年度 年 度 科目コード C-G05 シラバス(授業概要) 時間数は45分換算 授業科目名 授業形態 学科・コース 就職活動ゼミⅡ 講義・演習 コンピュータ科 履修学年 履修学期 必修・選択 時間数 単位数 担当教員 渡邉 尚明 2 前期 必修 30 1 吉田 文昭 授業の目的・目標 ・就職活動をスムーズに行うための基礎知識を身につける。 授業の概要 ・自己表現をすることと、希望の会社ついて学ぶことをバランスよく行う。 成績評価の方法 出欠席や積極性などで評価しする。 積極性 50% 出欠席 50% 使用テキスト・教材 授業内容・授業計画 時間数 時間数 科内交流会 2 小論文とは(小論文の書き方) 文章の読み書きの規則 2 小論文演習 4 ハローワーク登録 2 就職に関するグループワーク 2 電話対応演習 2 自己分析 2 マナーと企業研究 2書類送付、メールの送信 2 実践的プレゼンテーション 2

6

関連科目

キャリアディベロップメントⅡ、教養ゼミIV

SPI練習

就職活動をスムーズに行う。

その他

年 度 2020年度 科目コード C-G06 <u>シラバス (授業概要)</u> 時間数は45分換算 授業科目名 学科・コース 授業形態 教養ゼミI 講義・演習 コンピュータ科 履修学年 必修・選択 時間数 単位数 担当教員 履修学期 前期 必修 各担当 1 30 1 授業の目的・目標 各科の専門だけでなく幅広い教養を身に着け、学習の視野を広げる。 授業の概要 選択科目は各科の専門科目・一般科目に関係なく、各学生の視野を広げるために、普段の 学科の学習では学習できない教養を複数の講座を開講する。履修は学生の希望アンケート調査に より決定する。学生から選択し、身に着けることを目的に開講する。 成績評価の方法 各講座により、試験、実技、提出物などで評価を行う。 使用テキスト・教材 各担当による。 開講講座(令和元年度) DTP ゼミナール(体育 I) ゼミナール (体育Ⅱ) お菓子作り パーソナルカラー t゙ミナール(運転と安全 I) ゼミナール(演劇) 一般常識 ゼミナール (インテリア植物の育て方) 英会話 イラスト入門 ゼミナール (中国語) インタービュー 心理学 ワープロ実務(準1級) ワープロ実務(1級以上) POPデザイン ゼミナール (ピアノ入門) その他 関連科目

						年	度	2020年	度	
-	(授 業 概 勇			45分換:		科目=	コード			
4	受業科目名	1	授	業形態	75		学科	・コース		
	教養ゼミⅡ		講	義・演	習	コンピュータ科				
履修学年	履修学期	必修・選択	時間	引数	単位	立数		担当教員		
1	後期	必修	3	0	1	1 中嶋久美子		中嶋久美子	<u>*</u>	
授業の目的	-									
人と人とのコ	ミュニケーシ	あれば情報収集ョンが大切であ を築く上でコミ	5る。 E	゙ ジネス	社会に	おいて	もスト	レスの多くは、	人間関	
授業の概要										
テキストだけ	でなく、様々	なグループワー	-クやケ	ームを	通じて	コミュ	ニケー	ション力を鍛り	えてい	
また正しい日	本語を学ぶこ	とで、どんな相	目手でも	自信を	持って	会話で	きる力を	を身に着けてい	, \ < ₀	
成績評価の	方法									
期末試験の得	点と授業態度、	、学習意欲を総	念合評価	iしたう	えで決	定する	0	期末試験	50%	
								授業態度	50%	
使用テキス	ト・教材									
コミュニケー	ション技法~	自分を大きく見	 見せる記	し方~	(ウイネ	ネット)				
講師作成資料	も使用									
授業内容・搭	受業計画									
IXAPITE I	X		時間数						時間数	
1. コミュニ	ケーション		7							
2. きれいな	発声・発音		1							
3. 正しい日	本語を身に着	ける	4							
4. プレゼン	テーション		2							
5. 聞くこと	の重要性		1							
その他				関連	科目				!	
				iviæ.						

2020年度 年 度 科目コード C-G08 シラバス(授業概要) 時間数は45分換算 授業科目名 授業形態 学科・コース コンピュータ科 教養ゼミⅢ 講義・演習 単位数 担当教員 履修学年 履修学期 必修・選択 時間数 1 前期 必修 30 1 各担当 授業の目的・目標 各科の専門だけでなく幅広い教養を身に着け、学習の視野を広げる。 授業の概要 選択科目は各科の専門科目・一般科目に関係なく、各学生の視野を広げるために、普段の 学科の学習では学習できない教養を複数の講座を開講する。履修は学生の希望アンケート調査 により決定する。学生から選択し、身に着けることを目的に開講する。 成績評価の方法 各講座により、試験、実技、提出物などで評価を行う。 使用テキスト・教材 各担当による。 開講講座(令和元年度) DTP t゙ミナール(体育 I) ゼミナール(体育Ⅱ) お菓子作り パーソナルカラー t゙ミナール(運転と安全 I) ゼミナール(演劇) 一般常識 ゼミナール (インテリア植物の育て方) 英会話 イラスト入門 ゼミナール (中国語) インタービュー 心理学 ワープロ実務(準1級) ワープロ実務(1級以上) POPデザイン ゼミナール (ピアノ入門) その他 関連科目

2020年度 年 度 科目コード C-G09 シラバス (**授 業 概 要**) 時間数は45分換算

授業科目名	授業形態	学科・コース
教養ゼミⅣ	講義・演習	コンピュータ科

履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	30	1	根上 裕恵		

授業の目的・目標

コミュニケーションの必要性を理解し、その技術を学びどの環境でも自信をもって他へ自己表 現しながら己の持てる力を十分に発揮し社会に貢献できる人材の育成。

授業の概要

1年時と同様テキストで基本的な知識を身につけ、実技やグループワークを多く取り入れ他者の 存在を感じる心を養い、コミュニケーションのルールを学び生かしていく。すべての人間関係 に生かせる内容である。

成績評価の方法

期末試験の得点・演習課題の評価点、グループワークや実技への意欲など 総合評価したうえで決定する。

期末試験

50%

課題

30%

20%

授業熊度

使用テキスト・教材

コミュニケーション技法(ウィネット) 講師作成資料も使用

「キャリアデザインワークショップⅡ」ウチダ人材開発センタ

授業内容 · 授業計画

	時間数		時間数
1. ガイダンス	2	13. プレゼン 発表・反省	2
2. チームビルディング	2	14.プレゼン 「動物園の新キャラクターは?」	2
3. チームビルディング実践~ホール~	2	15.プレゼン 発表・反省・まとめ	2
4. 話すときの心構え	2		
5. ふさわしい話の内容を考える	2		
6. 効果的な話し方を身につける	2		
7. 5W1Hで話す。	2		
8. 効果的な表現力とは	2		
9. 表現力を高めるジェスチャー	2		
10.聴くことの大切さ	2		
11.聴き上手になろう	2		
12. プレゼン 「新店舗はどんな店?」	2		
この44	•	明本が口	_

その他 関連科目

・就活ゼミⅡ

年 度 2020年度 科目コード C-G10 **シラバス (授 業 概 要)** 時間数は45分換算 授業科目名 学科・コース 授業形態 コミュニケーション活動I 講義・演習 コンピュータ科 履修学年 時間数 単位数 担当教員 履修学期 必修・選択 石野 真明 通年 必修 1 30 1 吉田 幸央 授業の目的・目標 学校行事など、通常科目の学習を越えた様々な学習活動を行う。 郊外での集団行動も多く、チームワークなど教室の授業では得られない学習効果が期待できる。 授業の概要 コミュニケーションを深めるとともに、集団生活における個々の役割・分担を再確認する。 成績評価の方法 出欠席、授業態度等。 期末試験 0% 課 題 0% 使用テキスト・教材 資料配布あり。 授業内容・授業計画 時間数 時間数 入学式 2沼情祭 8 ボウリング大会 第1次進級発表 2 1 春のハイキング 終業式・前期成績発表 2 始業式・防災訓練 2 資格表彰式 1 新年始業式 1 卒業研究発表会(系) 2 後期成績発表 1 卒研研究発表会(全体) 2 沼情祭準備 2 その他 関連科目

						年 度 2020年				度
シラバス	(授業概9	要) 時	間数は	45分換	算	科目:	コード	- ⊦ C-G11		
担	受業科目名	1	授	業形態	焦		学科	・コー	-ス	
コミュ	ニケーション	活動Ⅱ		演習		コンピュータ科				
履修学年	履修学期	必修・選択	時間	引数	単位	拉数		担当	教員	
2	通年	必修	9	0	Ę	}	渡邉 尚明 吉田 文昭			
授業の目的	・目標									
・始業式、終行事、さらに		ングや入学式、 どに参加する?				卷表会 <i>、</i>	就職ス	ゴイダン	スとし	いった
授業の概要										
修		ングや入学式、	、卒業 ⁵ 	式、卒 ^美	类研究 多	ě表会、	就職ス	i イダン.	ス、淮 	野外研
成績評価の	**									
・出席点で評使用テキス								出欠	席	100%
授業内容・指	受業計画									
始業式、卒業式 ハイキング 卒業研究発表 就職ガイダン 海外研修	t 会		時間数 8 16 12 14 40							時間数
その他				関連	科目					
各種イベント	に積極的に参	加しましよう。								

				年	度	2020年	度			
シラバス	(授業概要	要) 時	間数は	45分換:	算	科目=	コード	C-SR(D1	
ł	受業科目名	1	授	受業形態	辞		学和	斗・コース		
パ	ソコン利用技	衍	講	義・演	習		コン	ピュータ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間	引数	単位	边数		担当教員		
1	前期	必修	3	0	<i>ç</i> 2	2		石野 真明 吉田 幸央		
授業の目的	▪目標									
• CompTIA IT	Fundamentals	ために実施する s合格を目指す。								
授業の概要		 利用するので−	- 定のル	ノールの	1 t. L	学校の	ネット	ワーカに接続	ナス	
	やコンピュー	タの中にはどの								
成績評価の方法										
提出課題の提出状況、出欠席状況で評価します。 課題 50%										
								出欠席	50%	
使用テキス	ト・教材									
		Fundamentals	(ITF+)	Self-F	aced S	tudy G	uide			
(試験番号 : F(CO-U61) eBool	x 日本語版(Co	ompTIA))						
授業内容•拐	受業計画									
			時間数						時間数	
パソコンの初期]設定、使用上の	の注意	4							
インターネッ	ト接続、プリ	ンタ設定	2							
アプリケーシ			2							
コンピュータ			4							
モバイルデバ	イス		2							
ストレージ			4							
CPUとメモリー			4							
メンテナンス		ューティング	4							
チェック問題	と検定対策		2							
模擬試験			2							
スの仏				日日 ***	원모				ļ.	
その他				関連	 	アル	_ L» -	- 7		

				年度			度	2020年度		
シラバス	(授 業 概 嬰	要) 時	間数は	:45分換算		科目:	コード	C	-SR0	2
- 1	受業科目名		担	受業形態			学和	学科・コース		
	HTML		講	義・演習	i	コンピュータ科				
履修学年	履修学期	必修・選択	時間	間数	単位	立数		担当教	数員	
1	後期	必修	3	30		1	中村 知枝美			AIN'
授業の目的										
スタイルシー	F(CSS)	ームページを作 を使用してバラ					する。			
授業の概要		#1.6~4.6	-l-)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u>-⊢> \</u>	· -> 1)-	おさ ご	TT 1 - °	250	}
		書かれており、 ュータに携わっ					親りすい	w e b∧	ーン <i>?</i>	<u>*</u>
成績評価の 課題提出	方法									
使用テキス はじめてのホ・		¶L5								
	要業計画									
1X. 17. 17.	X # 11 1		時間数							時間数
ホーンページの 大一	ルビ・特殊文学 トラインの構成 習) 音声の貼り付け の作成 題) トを記述①	戊	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	練習問題練習問題練習問題	[(課	題)				1 1 1
その他				関連科		H				
				• HTM	上応	用				

2020年度 年 度 科目コード C-SR03 シラバス(授業概要) 時間数は45分換算 授業科目名 授業形態 学科・コース コンピュータ科 講義・演習 HTML応用 履修学年 履修学期 必修・選択 時間数 単位数 担当教員 2 必修 30 1 中村 知枝美 前期 授業の目的・目標 ・プレゼンテーションを理解し、社会人として適切なプレゼンテーションができるようにな る。 授業の概要 ・視覚化・図解化のツールとしてパワーポイントを使用する。 成績評価の方法 プレゼンテーション(発表) 60% 発 表 スライド 40% 使用テキスト・教材 プリント配付 授業内容・授業計画 時間数 時間数 1. プレゼンテーションの心得 7. 個人プレゼンの発表・評価・反省 2 4 2. PowerPointの基本操作 3. プレゼンテーションのテクニック 4 4. グループ別プレゼンテーション 8 ·情報収集 ·資料収集 ・PowerPointでの視覚資料作成 ・リハーサル 5. グループでの発表・評価・反省 6. 個人プレゼンテーション 6 情報収集 • 資料収集 ・PowerPointでの視覚資料作成 ・補助資料作成・リハーサル その他 関連科目 就活ゼミⅡ、教養ゼミIV

年 度 2020年度 科目コード C-SR04 シラバス (授業概要) 時間数は45分換算 授業科目名 授業形態 学科・コース 実習 コンピュータ科 表計算基礎 履修学年 時間数 単位数 担当教員 履修学期 必修・選択 前期 必修 山本 葉子 1 30 1 授業の目的・目標 表計算(Excel)の基礎を学び、就職後の実務に役立つようにする。 MOS Excelの合格 授業の概要 Excelの基礎を身につけ、MOS合格を目指す。 成績評価の方法 課題提出 期末試験 70% 期末試験(実技)結果 30% 課 題 使用テキスト・教材 MOS攻略問題集Excel2016 授業内容・授業計画 時間数 時間数 Excelの概要 2グラフ作成 4 データ入力・削除 棒・折れ線・円・3D・複合 ドーナツ・散布図・レーダーチャート 表作成 書式設定・罫線・計算 データベース 4 関数 並び替え・フィルタ・集計 6 SUM · AVERAGE · MAX · MOS Excel MIN · COUNT · COUNTA · 第1章 ワークシートやブックの作成と管理 2 第2章 セルやセル範囲の作成 RANK · IF · AND · OR · 2 ネスト・ROUND・INT 第3章 テーブルの作成 2 ROUNDUP · ROUNDDOWN 第4章 数式や関数の適用 2 SUMIF · AVERAGE IF 第5章 グラフやオブジェクトの作成 2 まとめ (演習) COUNTIF · 文字列操作 2

関連科目

その他

		年度						g 2020年度		
シラバス	(授業概9	要) 時	間数は			科目=	コード	C-SR0	5	
‡	受業科目名		授	美米形	E C		学科	・コース		
	表計算応用		講	義・演習コ			コン	ンピュータ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間	引数	単位	拉数		担当教員		
1	後期	必修	3	0	- -	1		山本 葉子		
授業の目的										
		MOS Exc	e l 合 ^t	各のたる	かに模扱	疑問題を	と行う。			
授業の概要		. Ha 2								
MOS Exc		指す。								
MOS Exc								 試験	100%	
使用テキス	ト・数材									
		1.0.0.1.0								
MOS攻略問	短朱 L X C E	12010								
授業内容・授	受業計画									
達するま	題1,2 1~5	格点に	時間数 4 10 16						時間数	
その他				関連	科目					
				· 表計	算基礎					

年 度 2020年度 科目コード C-SR06 <u>シラバス (授業概要)</u> 時間数は45分換算 授業科目名 学科・コース 授業形態 コンピュータ概論 講義・演習 コンピュータ科 時間数 単位数 履修学年 履修学期 必修・選択 担当教員 石野 真明 前期 必修 1 30 吉田 文昭 授業の目的・目標 ・コンピュータ内部のデータ表現を学習する。学習をとおして基数変換、補数表現、浮動小数点 演算、シフト演算ができるようになる。 授業の概要 コンピュータ内の中心を成している2進数を中心として、2進数、8進数、16進数について学習 し、基数変換を学ぶ。また補数の考え方、小数点のある演算、シフト演算などについて学習す 成績評価の方法 期末試験を中心に、出欠席を加味して評価する。 期末 80% 出欠席 20% 使用テキスト・教材 ITワールド (インフォテック・サーブ) 授業内容・授業計画 時間数 時間数 基数(10進数、2進数、8進数、16進数) 2基数と基数変換 3 データの表現形式(文字データ) 1 ゾーン10進数、パック10進数 1 固定小数点数、符号付き絶対値表現 1 補数表現 2 浮動小数点数 1 誤差 1 シフト演算:算術シフト、論理シフト 2まとめ 1 その他 関連科目

・ハードウェア

コンピュータの一番基本的なことをが学習しま

す。

 年度
 2020年度

 シラバス (授業概要)
 時間数は45分換算
 科目コード
 C-SR07

 終業利日名
 授業形態
 学科・コース

授業科目名 授業形態 学科・コース

アルゴリズム 講義・演習 コンピュータ科

 履修学年
 履修学期
 必修・選択
 時間数
 単位数
 担当教員

 1
 通年
 必修
 60
 1
 吉村
 眞光

授業の目的・目標

プログラムを作成するうえで必要となるロジックの作り方を学習します。

授業の概要

初めに基本的な流れ図記号から学習し、変数への代入方法、大小を比較する処理の分岐方法を学習します。次に繰り返し処理、2重ループの作り方を学習します。さらに配列処理を学習します。これには1次元配列、2次元配列とあります。さらに配列を用いた文字列処理、探索処理を学習します。最後に探索・整列について学習します。

成績評価の方法

期末試験、小テストの結果及び提出課題の提出状況、出欠状況で評価します。

期末試験 70%

課

題 30%

使用テキスト・教材

データ構造とアルゴリズム

・演習課題あり。

授業内容・授業計画

IXANIA IXANIA			
	時間数		時間数
代表的な流れ図記号	1	1 次元配列	3
変数と定数	1	2次元配列	4
カウンタ	1	文字列の利用	1
集計(集計の方法)	1	線形探索	2
二重ループ1 (二重ループの作り方)	1	二分探索	2
二重ループ2(行の処理、列の処理)	1	整列アルゴリズム	4
二重ループ3(演習)	1	ここまでのまとめの演習	2
複合条件 1 (AND, OR)	1		
複合条件2(演習)	1		
フラグ (フラグの使い方)	1		
ここまでのまとめの演習	2		

その他関連科目

※単元ごと演習課題を実施する。

• 情報基礎理論

(プログラム言語・システム開発)

年 度 2020年度 科目コード C-SR08 <u>シラバス (授業概要)</u> 時間数は45分換算 授業科目名 学科・コース 授業形態 コンピュータ科 ハードウェア 講義・演習 必修・選択 時間数 単位数 担当教員 履修学年 履修学期 前期 必修 吉田 幸央 1 30 1 授業の目的・目標 基本情報技術者試験(午前)、ITパスポート試験合格を目標とする。 授業の概要 使用テキストのITワールドの内容を学習する。単元を終える毎に基本情報技術者試験(午前)の 過去問題を解き、インプットした知識を即アウトプットする形式で進めていく。 成績評価の方法 筆記試験(またはWeb試験)及び出欠席状況で評価する。 出欠席 20% 試験 80% 使用テキスト・教材 ITワールド(第1部 ハードウェア 第4節~第5節)(第2部 情報処理システム) 授業内容・授業計画 時間数 時間数 補助記憶装置 2 入出力装置 情報処理システムの処理形態 4 高信頼化システムの構成 情報処理システムの評価 6 ヒューマンインターフェース マルチメディア 基本情報技術者試験過去問題 試験 関連科目 その他 ※実務経験のある教員が担当する科目である

 年度
 2020年度

 シラバス(授業概要)
 時間数は45分換算
 科目コード
 C-SR09

 授業利日名
 授業形能
 受利・コース

授業科目名授業形態学科・コースソフトウェア講義・演習コンピュータ科

履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	塩見 尚路

授業の目的・目標

基本情報技術者試験(午前),ITパスポート試験,CompTIA IT Fundamentals合格を目指す。

授業の概要

かなり広範囲に渡って学習します。更に情報処理試験、CompTIA試験でも中心となる分野です。 一歩一歩確実に理解し、自分のものにしてください。

成績評価の方法

筆記試験、出欠席で評価します。

期末試験 70%

課 題 30%

使用テキスト・教材

ITワールド(第3部ソフトウェア)P155-208

参考 CompTIA IT Fundamentalsテキスト (第4章アプリケーション)

授業内容・授業計画

	時間数		時間数
ソフトウエアの分類①	1	小型コンピュータのファイル管理	1
ソフトウエアの分類②	1	バックアップ	1
ソフトウェアライセンスによる分類	1	アプリケーションの基本と種類	1
ジョブ管理	1	アプリケーションの管理、チェック問題	1
タスク管理、ディスパッチャ	1		
記憶管理、その他の管理機能	1		
プログラム言語	1		
言語フロセッサ、サービスフロクフム、 プログラムの属性	1		
ファイルとレコード	1		
ファイルのアクセス方式	1		
ファイル編成方式、	1		

その他	関連科目
ての他	

※実務経験のある教員が担当する科目である

・ハードウェア

年 度 2020年度 科目コード C-SR10 **シラバス (授 業 概 要)** 時間数は45分換算 授業科目名 授業形態 学科・コース データベース基礎 講義・演習 コンピュータ科 履修学年 必修・選択 時間数 単位数 担当教員 履修学期 前期 必修 吉田 幸央 1 30 1 授業の目的・目標 基本情報技術者試験(午前)、ITパスポート試験合格を目標とする。 授業の概要 使用テキストのITワールドの内容を学習する。単元を終える毎に基本情報技術者試験(午前)の 過去問題を解き、インプットした知識を即アウトプットする形式で進めていく。 成績評価の方法 筆記試験(またはWeb試験)及び出欠席状況で評価する。 出欠席 20% 試験 80% 使用テキスト・教材 ITワールド(第4部 データベース) 授業内容・授業計画 時間数 時間数 データベースの設計 6 データベース管理システム 4 SQLデータ定義 4 SQLデータ操作 8 分散データベース 2 基本情報技術者試験過去問題 4 試験 その他 関連科目

 年度
 2020年度

 科目コード
 C-SR11

 シラバス (授業概要)
 時間数は45分換算

授業科目名 授業形態 学科・コース

データベース設計演習 講義・演習 コンピュータ科

 履修学年
 履修学期
 必修・選択
 時間数
 単位数
 担当教員

 2
 前期
 必修
 60
 2
 吉村 眞光

授業の目的・目標

- Access VBAを学習する。
- ・Access VBAで簡単なOfficeアプリケーションを開発する。

授業の概要

- ・テキストに基づいて演習を行う。
- ・最後に課題制作を行う。

成績評価の方法

授業中に作成したベータベースと課題により評価する。

課 題 80%

出欠席 20%

使用テキスト・教材

Accessによるシステム構築問題集(ムゲンダイ出版)

授業内容・授業計画

時間数時間数時間数時間							
データベースについて、Accessの使い方	2	メニューの	作成	2			
データベース、テーブルの作成方法	2	課題作成1	住所管理システムの開発	6			
顧客テーブルの作成	2	課題作成2 発	メアイグ管埋シスアムの開	6			
顧客情報フォームの作成	2	課題作成3	売上管理システムの開発	6			
顧客フォームを使って情報登録	2	課題作成4	成績管理システムの開発	8			
商品テーブルの作成	2	総合問題	レンタルDVDシステムの開発	8			
商品情報のフォームの作成	2						
注文テーブルの作成	2			į			
リレーションシップ	2						
請求書の作成	2						
月ごとに売り上げをまとめる	2			 			
Excel、Wordとの連携	2						

その他関連科目

目分でシステムを積極的に作成してもらいたい。 い。

・卒業研究、データベース基礎

シラバス (授業概要)時間数は45分換算年度2020年度科目コードC-SR12授業科目名授業形態学科・コースシステム開発基礎講義・演習コンピュータ科

履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	鈴木 孝昌

授業の目的・目標

この授業では、情報システム戦略、システム開発技術、ソフトウェア開発技術、システム開発環境、Webアプリケーション開発について学習する。

授業の概要

ITパスポート、基本情報技術者試験に出題される用語について、その概要を理解し問題に対応できる知識を習得し、情報システム戦略の意義とシステム開発の方法・手順を理解する。

成績評価の方法

学期末試験の成績で評価する。

試 験 100%

使用テキスト・教材

「IT戦略とマネジメント」株式会社インフォテック・サーブ

授業内容・授業計画

	時間数		時間数
第3部 情報システム戦略	2	1.3 保守・廃棄プロセス	
1. 情報システム戦略の概要		2. ソフトウェア開発技術	8
1.1 情報システム戦略のプロセス		2.1 ソフトウェア開発手法	i ! !
1.2 業務プロセスとソリューションビジネス		2.2 ソフトウェア設計手法	
2. 情報システム企画	2	3. システム開発環境	4
2.1 企画プロセス/開発計画		3.1 知的財産適用管理	
2.2 要求定義/分析		3.2 開発環境管理	
2.3 調達		3.3 構成管理・変更管理	
第4部 開発技術	12	4. Webアプリケーション開発	2
1. システム開発技術		4.1 Webアプリケーション	
1.1 システム開発プロセス		4.2 Webアプリケーション開発	
1.2 ソフトウェア実装プロセス]]] [
スの 糾		即本科日	

その他

関連科目

※実務経験のある教員が担当する科目である

・IT戦略とマネジメント、システム開発演習

シラバス(授業概要) 時間

時間数は45分換算

年度2020年度科目コードC-SR13

授業科目名 授業形態 学科・コース

IT戦略とマネジメント

講義・演習

コンピュータ科

 履修学年
 履修学期
 必修・選択
 時間数
 単位数
 担当教員

 1
 前期
 必修
 30
 2
 鈴木 孝昌

授業の目的・目標

企業活動、企業会計、標準化、関連法規、経営戦略、プロジェクトマネジメント、サービスマネ ジメントついて学習する。

授業の概要

ITパスポート、基本情報技術者試験に出題される用語について、その概要を理解し問題に対応できる基礎知識と応用力を習得する。

成績評価の方法

学期末試験の成績で評価する。

試 験

100%

使用テキスト・教材

「IT戦略とマネジメント」株式会社インフォテック・サーブ

授業内容・授業計画

	時間数		時間数
第1部 企業と法務	2	第5部 プロジェクトマネジメント	2
1. 企業活動		1. プロジェクトマネジメントの概要	
1.1企業活動の目的		1. サブジェクトグループ	2
1.2企業の組織体系	2	2.1統合マネジメント	! ! !
1.3経営管理		2.2スコープマネジメント	
2. 企業会計	2	2.3タイムマネジメント	! ! !
2.2管理会計		2.4コストマネジメント	2
4. 法務と標準化	2	2.5品質マネジメント	
4.1知的財産権		2.6リスクマネジメント	
4.2セキュリティ関連法規		2.7その他のマネジメント	! ! !
4.3労働関連・取引関連法規	2	第6部 サービスマネジメント	2
4.4その他関連法規		1. サービスマネジメントの概要	
4.5コンプライアンス	2	1.1目的と考え方	
4.6標準化と認証制度		1.2システムの確立及び改善	
第2部 経営戦略マネジメント	2	1.3 I T I L	2
1. 経営戦略マネジメント		2. サービスマネジメントの手法	
1.1経営戦略マネジメント		2.1サービスの設計・移行	
1.2マーケティング		2.2サービスマネジメントプロセス	2
1.3ビジネス戦略と目標評価	2	2.3サービスの運用	
1. 4経営管理システム		2.4ファシリティマネジメント	! ! !
3. ビジネスインダストリ		期末試験	2
スの 出		明本科中	

その他

関連科目

※実務経験のある教員が担当する科目である

・システム開発基礎、システム開発演習

する年度2020年度シラバス (授業概要)時間数は45分換算科目コードC-SR14

授業科目名授業形態学科・コースネットワーク基礎講義・演習コンピュータ科

 履修学年
 履修学期
 必修・選択
 時間数
 単位数
 担当教員

 1
 前期
 必修
 30
 2
 小針
 恒雄

授業の目的・目標

基本情報技術者試験(午前)、ITパスポート試験、CompTIA IT Fundamentals合格を目指す。

授業の概要

覚えることが多い科目ですが、ネットワークの世界で共通に話されている事柄が主となります。 確実に覚えるようにしてください。

成績評価の方法

前期末試験及び出欠席状況で評価する。

期末試験 50%

出 欠 席 50%

使用テキスト・教材

ITワールド(第5部ネットワーク)

CompTIA IT Fundamentalsテキスト(第8章ネットワーク接続、第9章ネットワークのプロトコルと応用、付録)

授業内容・授業計画

その他		関連利日	
接続方式と機器・ケーブル			
ネットワークの概念、インターネットの	2		
ネットワーク管理手法	2		
運用管理			
インターネットサービス、ネットワーク	2		
基本構成			
TCP/IPプロトコル、インターネットの	2	チェック問題他	2
LANの基礎技術、その他のLAN技術	2	付録:TCP/IP	2
/IP		通信の暗号化とネットワークストレージ	2
OSI(開放型システム間相互接続)、TCP	2	接続・有線接続	
チャとは		ネットワーク設定、モバイル接続・無線	2
通信サービス、ネットワークアーキテク	2	クのコマンド	
ネットワークの基礎技術、伝送制御手順	2	ネットワークのプロトコル、ネットワー	2
構成		の接続形態	
イットソークの種類と特徴、イットソークの基本	2	ワイヤレスネットワーク、ネットワーク	2
	時間数		時間数

その他 関連科目

※実務経験のある教員が担当する科目である

・情報セキュリティ、ネットワーク設計演習

年 度 2020年度 科目コード C-SR15 シラバス(授業概要) 時間数は45分換算

授業科目名 学科・コース 授業形態

情報セキュリティ コンピュータ科 講義・演習

履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	小針 恒雄

授業の目的・目標

基本情報技術者試験(午前)、ITパスポート試験、CompTIA IT Fundamentals合格を目指す。

授業の概要

覚えることが多い科目ですが、セキュリティの世界で共通に話されている事柄が主となります。 確実に覚えるようにしてください。

成績評価の方法

前期末試験及び出欠席状況で評価する。

期末試験 50%

出欠席 50%

使用テキスト・教材

ITワールド(第6部セキュリティ)

CompTIA IT Fundamentalsテキスト(第10章セキュリティ)

授業内容・授業計画

	時間数		時間数
情報セキュリナイの概念 資産、賀威(人的・ 技	2	リティ	
術的・物理的)、脆弱性		情報セキュリティの3大要素、マルウェ	2
情報セキュリティ技術 暗号化技術、認	2	ア	
証技術、PKI		Windows Update、パスワードマネジメン	2
情報セキュリティ管理 情報セキュリテ	2	F	
ィマネジメント、リスクマネジメント		ソフトウェアファイアウォールの有効化と無効化、アンチマル	2
情報セキュリティ機関・評価基準 情報	2	ウェアの有効・無効化とアラート	
セキュリティ機関・評価基準		利用していない機能の無効化、オープン	2
人的セキュリティ対策、技術的セキュリ	2	Wi-Fi	
ティ対策		タイムアウトとロックオプション、セキ	2
物理的セキュリティ対策	2	ュアな接続やWebサイトの確認	
セキュリティ実装技術① セキュアプロ	2	IEのセキュリティ機能、Webブラウザーと	2
トコル、ネットワークセキュリティ		プラグインのアップデート	
セキュリティ実装技術② データベース	2	モバイルデバイスのセキュリティ対策、	2
セキュリティ、アプリケーションセキュ		スマートデバイス管理他	
その他		関連科目	

※実務経験のある教員が担当する科目である

・ネットワーク基礎、ネットワーク設計演習

					平 及	2019年度
シラバス	(授業概要	科目コード	C-SR16			
			授業形態	迩	学	枓・コース
プログラ	ラム言語 I (C言語)	講義・演	習	コン	′ピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位	边数	担当教員

年 庄

履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	120	3	吉村 眞光 浅田 豊子

授業の目的・目標

- ・基本情報処理技術者試験に必要な知識の習得
- ・サーティファイ C言語プログラミング能力認定試験3級~2級受験に向けた知識の習得

授業の概要

授業では、パソコン上で実際にプログラムを作成することを重視します。 確認テストや実習問題、テキストの問題を確実に解いていくことで実力が付きます。 常に「何故そうなるのか」という気持ちを持ち、自分でしっかりと考え、理解することが 大切です。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、小テストの結果及び提出課題の提出状況、出欠席状況で評価します。

期末試験

50%

課 題 50%

2010年度

使用テキスト・教材

「Cプログラミング」(株式会社インフォテック・サーブ)

• 演習課題(自作)

授業内容・授業計画

	時間数		時間数
C言語とは(特徴、コーディング)	4	getchar()関数とputchar()関数	2
画面への出力(printf()関数)	6	ビット演算(論理演算、シフト演算)	4
キーボードからの入力(scanf()関数)	4	配列(一次元、二次元、配列操作等)	10
数値計算(代入、算術演算、複合演算子)	2	ポインタ	12
異なるデータ型の計算(キャスト演算等)	2	アドレスを受け渡す関数	4
if文(比較演算子、if文のネスト)	4	ポインタチェック問題	4
論理演算子	2	構造体	20
反復(while文、do~while文、for文)	8	プリプロセッサ	4
多分岐選択(else if文、switch文)	4	共用体	4
break文とcontinue文	2	列拳型	2
ここまでのまとめと演習	4	ファイル処理・操作	4
実習問題(制御構造)	4	まとめと演習	4

その他 関連科目

※単元ごと演習課題を実施する。

• 情報基礎理論

※実務経験のある教員が担当する科目である。

(アルゴリズム・システム開発)

すがえ(授業概要)時間数は45分換算科目コードC-SR17授業科目名授業形態学科・コース

オブジェクト指向設計 講義・演習 コンピュータ科

 履修学年
 履修学期
 必修・選択
 時間数
 単位数
 担当教員

 1
 後期
 必修
 60
 4
 塩見
 尚路

授業の目的・目標

- ・オブジェクト指向設計についてプログラムと設計を対応させながら学習する。
- ・UMLを用いた設計方法について学習する。

授業の概要

講義と演習により授業を実施する。

UMLについてはastahを用いて作成する。

成績評価の方法

授業で行う演習と期末試験で評価する。 期末試験

演 習 50%

50%

使用テキスト・教材

「ゼロからわかるオブジェクト指向超入門」(技術評論社)

授業内容・授業計画

	時間数		時間数
オブジェクト指向とは	2	インタフェースについて	2
モデルとは	2	ユースケース図について	2
UMLの責務について	2	設計演習 I (業務を理解する)	2
クラスとは	2	設計演習 I (オブジェクト図、クラス図	2
クラスとインスタンス	2	を作成する)	
オブジェクト図とクラス図	2	設計演習 I (シナリオを作成する)	2
多重度について	2	設計演習 I (シーケンス図を作成する)	2
astahを使ってクラス図、オブジェクト	2	設計演習Ⅱ(業務の流れを把握する)	2
図を作成する		設計演習 Ⅱ (システムの機能を抽出する)	2
クラスをプログラムに展開する①	2	設計演習Ⅱ(機能の使用を分析する)	2
クラスをプログラムに展開する②	2	設計演習 Ⅱ (オブジェクトを抽出する)	2
コミュニケーションズとシーケンス図①	2	設計演習Ⅱ(分析クラス図を作成する)	2
コミュニケーションズとシーケンス図②	2	設計)資Ⅱ(システムの振る舞いを設計す ス)	2
汎化と継承について	2	設計演習Ⅱ(実装①)	2
抽象クラスについて	2	設計演習Ⅱ(実装②)	2
多態性について	2	設計演習Ⅱ(実装③)	2

その他 関連科目

・システム開発基礎、システム開発演習

2020年度 年 度 科目コード C-SR18 シラバス (授業概要) 時間数は45分換算 学科・コース 授業科目名 授業形態 システム開発演習 講義・演習 コンピュータ科 履修学年 履修学期 必修・選択 時間数 単位数 担当教員 石野 真明 後期 必修 2 1 60 吉田 幸央 授業の目的・目標 前期に学習したシステム開発基礎やプログラム言語をもとに、身近なテーマで、設計からC言語に よるプログラング、テストまで行う。 授業の概要 1年次の学習の総まとめとして位置付けている。C言語での開発はキャラクターベースで行うので、コマンドプロプ上に出力する。設計しそれに基づいて開発することを経験し、設計の重要さを学んでもらいたい。さらにプログラムのデバッグも十分やってもらいたい。 成績評価の方法 完成したシステムの設計書、コーディングしたプログラム、システムのプレ 設計書 33% ゼンテーションにより評価する。 プログラム 33% プ レセ ンテーション 34% 使用テキスト・教材 ・プリント (自作) 授業内容・授業計画 時間数 時間数 システム設計 20 設計書に基づいてプログラミング、テス 36 プレゼンテーション 4 その他 関連科目 ・プログラム言語Ⅰ、プログラム言語Ⅱ

・システム開発基礎、オブジェクト指向設計

2020年度 年 度 科目コード C-SR19 シラバス (授業概要) 時間数は45分換算 授業科目名 学科・コース 授業形態 システム開発総合演習 講義・演習 コンピュータ科 時間数 単位数 履修学年 履修学期 |必修・選択 担当教員 渡邉 尚明 2 前期 必修 60 2吉田 文昭 授業の目的・目標 オブジェクト指向プログラム言語での開発に用いられている"UML開発手法"について学習し、C# を開発環境に用いた簡単なデータベースアプリケーションを開発する。 授業の概要 全60コマを前半部20コマの座学と後半部40コマの実習とに分け、前半でUML開発手法につい て学習した後、設計~実装までの流れを実習にて確認する。 開発実習に入ってからは7~8名のグループで作業を行う。 成績評価の方法

授業内で作成した成果物を主体に、授業態度・その他提出物などを加味して 評価

課題

60%

授業態度

20%

提出物 20%

使用テキスト・教材

オリジナルテキスト「システム開発演習」

授業内容・授業計画

投耒內谷 "投耒訂삘			
	時間数	時間	数
システム設計の手順と方法	10		
UML開発手法とは	10		
C#によるアプリケーションの開発演習	40		

その他 関連科目

システムを積極的に作成してほしい。

※実務経験のある教員が担当する科目である

・卒業研究、データベース基礎

2020年度 年 度 科目コード C-SR20 シラバス (授業概要) 時間数は45分換算 授業科目名 学科・コース 授業形態 講義・演習 コンピュータ科 Windowsプログラム基礎 (C#) 履修学年 履修学期 │必修・選択 時間数 単位数 担当教員 石野 真明 後期 必修 2 1 60 内田 正章 授業の目的・目標 C#の基本を学習する。 ・C#で簡単なWindowsアプリケーションが開発できる。

授業の概要

授業は教科書、演習中心に行う。 最後に課題制作を実施する。

成績評価の方法

提出課題の提出状況、出欠席状況で評価します。

※実務経験のある教員が担当する科目である

課 題 50% 出欠席 50%

使用テキスト・教材

「目指せプログラマー!プログラミング超入門」 (マイナビ)

授業内容・授業計画 時間数 時間数 基本文法を覚えよう① GUIのアプリ、プロジェクト、Program.cs、 C#を書くための基本、値と変数の使い方 Form1.cs 基本文法を覚えよう② 計算の基本 ウインドウを使ったアプリ制作② GUI部品を 値を使ってみよう、異なるタイプを代入 作ってみよう ツールホックス、Label配直、フロバアイの設 すると?、値の計算 定 基本文法を覚えよう③ 計算の基本 、ボタン 2 異なるタイプの値を計算すると?、覚え ウインドウを使ったアプリ制作③ GUI部品を 2 ておくと便利な演算子、キャストって 作ってみよう イベントの設定、Clickイベント、人刀フィール 何? オノンエクト指回つ (なに ? ① クフスの機 2 2×20 静的クラス、抽象クラス ウインドウを使ったアプリ制作① フォームの 2 GameObjectクラス 2 同上 基本を覚えよう その他 関連科目

・システム開発基礎、オブジェクト指向設計

・プログラム言語 I、プログラム言語Ⅱ

2020年度 年 度 科目コード C-SR21

シラバス(授業概要) 時間数は45分換算

授業科目名 授業形態 学科・コース

ネットワーク設計演習 講義・演習 コンピュータ科

履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	60	2	吉田 幸央

授業の目的・目標

PHPの基本構文を学習した後、データベースを使ったWebサイトの構築を行う。フォーム入力 データのファイル保存、データベースの構築・連携とSQL文を用いたデータ操作があできるよう になることを目的とする。

授業の概要

HTMLに動的な処理を加えるうえで、PHPは必須の言語である。前半の基本構文を確実に理解して おかないと、課題制作が難しくなるため、確実に理解することが求められる。PHPを習得するこ とで、Webアプリケーション開発を行うための知識・技術を学ぶ。

成績評価の方法

例示課題及び制作課題の提出、出欠席状況で評価する。

出欠席

20%

20%

例示課題

課題制作

60%

使用テキスト・教材

PHP7+MySQL (ソーテック社)

担当教員が準備した資料

授業内容•授業計画

	時間数		時間数
PHPの環境構築	2	アンケートフォーム	8
文字列の表示	1	制作課題:アンケートフォーム	10
変数	1	データベースの構築	4
文字列結合	1	SQL文	4
条件分岐	2	SQLを用いたメモ機能制作	10
繰り返し	2	例示課題のチェック及び提出	4
配列	2		
ユーザ定義関数	1		
POSTを使った処理	2		
SESSIONを使った処理	2		
COOKIEを使った処理	2		
ファイルのアップロード	2		

その他 関連科目

• 卒業研究

年度2020年度科目コードC-SR22

シラバス (授業概要) 時間数は45分換算

授業科目名授業形態学科・コース企業課題講義・演習コンピュータ科

履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	60	2	石野 真明 内田 正章

授業の目的・目標

- Javaプログラムの基本的な文法を学習する。
- ・この授業を終えた後、Andoroidアプリ開発の授業に続くので、この授業では基本的なアプリケーション開発能力を身に付けることを目標とする。

授業の概要

・この授業は2年次に行うので、if文、for文などのC言語と共通な文法の学習はなるべく行わず、Java独自の文法の中心に学習する。

成績評価の方法

・単元ごとに確認の演習を行うが、この演習課題はすべて提出する必要がある。学期末にペーパー試験を行う。ペーパー試験の結果と演習課題の内容により評価する。

課題 40% 試験 60%

使用テキスト・教材

すっきりわかるJava入門(インプレスジャパン)

授業内容・授業計画

	時間数		時間数
JavaとEclipseのインストール	2	静的メンバ、静的メソッド	2
クラス名、ソースファイル名	2	カプセル化	6
配列、拡張for文	2	継承	6
多次元配列	2	抽象クラス	2
多次元配列	2	インタフェース	2
引数の利用	2	多態性	2
オーバーロードの利用	2	例外処理	2
引数や戻り値で配列の利用	4		į
ソースファイルを複数のクラスに分割	4		
インスタンスとクラス	6		
クラス型と参照	2		<u> </u>
コンストラクタ	4		<u> </u>

その他関連科目

自分でエラーを直せるようになってもらいたい。

· 卒業研究、C言語

					年	度	2020年度
シラバス	(授業概要	要) 時	間数は45分換	算	科目コ	_ 7.	C-SR23
授業科目名			授業形態		学科・コース		
情	情報特別講義 I 講義・演習 コンピュータ科			講義・演習			ピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数単位		拉数		担当教員
1	後期	必修	120	4	1		石野 真明 吉田 幸央

授業の目的・目標

基本情報技術者試験(午前免除)、ITパスポート試験、CompTIA IT Fundamentals合格を目指した対策授業です。

授業の概要

対策授業は決して楽な勉強ではありません。人間はとかく楽な方、楽な方へ行きたくなるものです。ついつい逃げ出したくなりますが、合格するんだという強い意志を持って勉強に臨んでください。また、勉強はすべてに科目の総まとめの意味を持っています。ここでしっかり勉強することで、ばらばらだった科目がしっかりつながり、さらなる理解につながるでしょう。

成績評価の方法

出欠席及び合格することなどで評価。

試験結果 50%

出 欠 席 50%

使用テキスト・教材

CompTIA IT Fundamentals eBook (CompTIA)

「ITパスポート試験問題集」(インフォテック・サーブ)

授業内容 · 授業計画

時間数		時間数
	模擬問題、過去問題によるチェック	
	関連科目	
	時間数	模擬問題、過去問題によるチェック

・システム開発基礎、オブジェクト指向設計

・プログラム言語 I、プログラム言語Ⅱ

年度2020年度科目コードC-SR24

シラバス (授 業 概 要) 時間数は45分換算

授業科目名 授業形態 学科・コース

情報特別講義Ⅱ 講義・演習 コンピュータ科

履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	120	4	渡邉 尚明 吉田 文昭

授業の目的・目標

基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の合格を目指した対策授業である。

授業の概要

授業はすべて受験対策の授業となる。基本情報技術者試験を受験する場合は、午前免除試験合格クラスと合格していないクラスに分かれる。授業は他の学科との混合クラスとなる。

成績評価の方法

出欠席及び合格することなどで評価する。

試験結果 20% 出 欠 席 80%

使用テキスト・教材

基本情報技術者試験午前問題集、午後問題集(インフォテックサーブ)

応用情報技術者試験午前問題集、午後問題集(インフォテックサーブ)

授業内容・授業計画

	時間数	時間数
基本情報(午前、午後とも受験)		
午前問題対策	60	
午後問題対策	60	
基本情報(午後のみ)		
アルゴリズム対策	20	
言語対策	20	
午後分野対策	20	
基本情報(午前、午後とも受験)		
午前問題対策	60	! ! ! !
午後問題対策	60	

その他 関連科目

- ・ネットワーク、セキュリティ
- プログラム言語

2020年度 年 度 科目コード C-SR25

シラバス(授業概要) 時間数は45分換算

授業形態

学科・コース

情報特別講義Ⅲ

授業科目名

講義・演習

コンピュータ科

履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位	数	担当教員
2	後期	必修	60	2		渡邉 尚明 吉田 文昭

授業の目的・目標

基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、ITパスポート試験、MOSの合格を目指した対 策授業である。

授業の概要

授業はすべて受験対策の授業となる。基本情報技術者試験を受験する場合は、午前免除試験合 格クラスと合格していないクラスに分かれる。授業は他の学科との混合クラスとなる。

成績評価の方法

出欠席及び合格することなどで評価する。

試験結果

20%

出欠席 80%

使用テキスト・教材

基本情報技術者試験問題集、ITパスポート試験問題集

応用情報技術者試験問題集、MOS攻略問題集

授業内容・授業計画

	時間数		時間数
基本情報(午前、午後とも受験)		ITパスポート対策	60
午前問題対策	30		
午後問題対策	30	MOS対策	60
基本情報(午後のみ)			
アルゴリズム対策	15		
言語対策	15		
午後分野対策	15		
基本情報(午前、午後とも受験)			
午前問題対策	30		
午後問題対策	30		

その他 関連科目

情報特別講義Ⅲが終了後、情報特別講義Ⅳを実 情報特別講義Ⅱ、情報特別講義Ⅳ 施する。

年 度 2020年度 科目コード C-SS01 シラバス(授業概要) 時間数は45分換算 授業形態 授業科目名 学科・コース コンピュータ科 制御プログラム 講義・演習 時間数 単位数 履修学年 履修学期 | 必修・選択 担当教員 2 後期 選択 和田 弘 60 2

授業の目的・目標

- ・マイコン利用による制御プログラムの基礎と応用方法について実習を通して学ぶ。
- ・自分で開発企画、プログラム作成、結果発表をできるようにしたい。

授業の概要

・プログラムの大きさによらず、自分の考えを構築できることがポイント。

成績評価の方法

筆記試験の結果と実習課題の評価等を総合評価した上で決定する。

課 題 40%

試 験 60%

使用テキスト・教材

Arduinoで電子工作をはじめよう(秀和システム)、拡張キット等

授業内容・授業計画

	時間数		時間数
授業の流れ、目標の確認	2	復習&自由課題	2
LEDを増やしてみる	6		
色を制御してみる	2		i ! !
音をだしてみる	2		
明るさを調べてみる	2		
温度を測定する	2		
距離センサーを使ってみる	2		
サーボモーターを動かす	2		-
液晶ディスプレイを使う	2		
電子さいころを作る	2		
ラーメンタイマーを作る	2		
Arduinoで時計を作る	2		

その他 関連科目

※実務経験のある教員が担当する科目である

· 卒業研究、C言語

						年	度	2020年	-
	(授業概9		間数は			科目=	1ード		2
<u>.</u>	受業科目名	1	授	業形態			子不	・コース	
Officeアプリケーション 講					羽白		コン	ピュータ科	
履修学年	履修学期]数	単位	位数 担当教員					
2	前期	選択	6	0	2	2		吉村 眞光	
授業の目的・目標									
	・Microsoft Office Specialist Access2016の資格取得を目的とする。								
授業の概要・模擬問題を		MOS Access201	16取得1	こ必要な	と技能を	や養成す	-る。		
		員がMOS Acces				2 20/90 /	• 0		
成績評価の	 方法								
	**	席率、授業態原	度などる	と考慮し	て評価	H i		試 験	60%
								出席率	20%
								授業態度	20%
使用テキス	ト・教材								
FOM出版「よく	くわかるマスタ	✓ MOS Acce	ess2016	対策ラ	テキスト	卜&問題	集 改	訂版」	
授業内容・技	受業計画								
			時間数						時間数
模擬問題•実習		ストール	2						
Lesson問題(28						
模擬試験(全	5回) +見直し		30						
その他				関連	科目				_

表計算基礎、表計算応用

年度2020年度科目コードC-SS03

シラバス (授 業 概 要) 時間数は45分換算

授業形態 学科・コース

Webアプリケーション

授業科目名

講義・演習

コンピュータ科

履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択	60	2	中村知枝美

授業の目的・目標

- ・HTML・CSSを使用してデザイン性のあるWebページ作成を作成する。
- ・JavaScript、jqueryを使用して動的なWebページを作成する。

授業の概要

- ・HTMLにJavaScriptを追加することによって、閲覧する側の使いやすさを追求できる。
- ・JavaScriptは他のプログラミング言語の考え方の礎となる。

成績評価の方法

•課題提出

課 題 100%

使用テキスト・教材

JavaScriptではじめるプログラミング超入門(技術評論社)

プリント配布

授業内容・授業計画

	時間数		時間数
HTMLの復習	4	innerHTMLプロパティ	2
CSSの復習	4	JavaScript標準オブジェクト	4
for文による繰り返し	2	練習問題(ここまでの)	2
変数	2	HTML要素を打王的に操作する	4
if else文による条件判定	2	ラケットゲームを作成する	4
練習問題 (ここまでの)	2	Jqueryスライドショー	4
多重ループ	2	課題WEBページ作成	10
配列	2		
関数	2		
練習問題 (ここまでの)	2		
クリックイベント・オブジェクト取得	2		
マウスイベント	2		

その他 | 関連科目

・HTML基礎、HTML応用

年度2020年度科目コードC-SS04

シラバス (授業概要) 時間数は45分換算

授業形態 学科・コース

表計算アプリケーション

授業科目名

講義・演習

コンピュータ科

履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	選択	60	2	塩見 尚路

授業の目的・目標

本来は手作業で行うべきExcelの操作を自動で実行してくれる機能であるマクロを、Excel VBAというプログラミング言語で記述することを学習する。と言っても、「マクロの記録」のようにサポートしてくれる機能が豊富なので、プログラムが苦手でもスムーズに作業が進められる。

授業の概要

授業では毎回、Excel VBAの基本知識を学ぶと共に、様々な課題に取り組むことで実践的なプログラミング技術を習得します。

成績評価の方法

提出してもらう課題により評価する。

課 題 100%

使用テキスト・教材

技術評論社 「Excel VBA本格入門」 大村あつし著

授業内容・授業計画

$egin{array}{c} 4 \ 2 \ 4 \ 2 \end{array}$		
2		
_		
4		
•		i ~
2	課題作成 (創作)	6
4	グラフを操作	2
2	日付や時刻を操作	2
2	文字列を操作	2
2	ユーザー定義関数	2
2	課題作成 (対話型のマクロ)	4
2	対話型のマクロ	2
6	課題作成 (繰り返し処理)	4
時間数		時間数
	6 2 2 2 2 2 2 4	 対話型のマクロ 課題作成 (対話型のマクロ) ユーザー定義関数 文字列を操作 日付や時刻を操作 グラフを操作

その他 関連科目

表計算基礎、表計算応用

 年度
 2020年度

 シラバス (授業概要)
 時間数は45分換算
 科目コード
 C-SS05

 授業科目名
 授業形能
 学科・コース

授業科目名授業形態学科・コーススマホアプリケーション講義・演習コンピュータ科

履修学年	履修学期 必修・選択 時間数 単位数		担当教員		
2	後期	選択	60	2	石野 真明

授業の目的・目標

この授業はAndroidの最新の開発ツールであるAndroid Studioを使い、Androidの開発手法を学習する。

授業の概要

始めにAndroid Studioをインストールし、Android Studioの基本的な操作方法を学習する。 次にツールボックスを使い基本的な画面の作成方法、画面の遷移方法、データベースの操作、 ネットワークプログラミングなどを学習する。

成績評価の方法

提出してもらう課題により評価する。

課 題 100%

使用テキスト・教材

Androidアプリ開発入門

授業内容・授業計画

時間数		時間数
2	総合演習	4
2		
2		
4		
2		
2		
2		
6		
6		
8		
10		
8		
	2 2 4 2 2 2 6 6 8 10	2 2 4 2 2 2 2 6 6 6 8 10

その他	関連科目

卒業研究、企業課題

年 度 2020年度 科目コード C-SS06 シラバス(授業概要) 時間数は45分換算 授業科目名 授業形態 学科・コース CADオペレーション 講義・演習 コンピュータ科 履修学年 履修学期 | 必修・選択 時間数 単位数 担当教員 2 前期 選択 2 佐野 佳久 60 授業の目的・目標 機械製図とAuto CADの基本操作の習得する。 授業の概要 機械CADの基本的な使い方を学習する。 成績評価の方法 図形の大きさに合わせた用紙サイズ・尺度選択し、三面図が描く。 課題 100% 使用テキスト・教材 Auto CAD LT2016 機械製図 授業内容・授業計画 時間数 時間数 機械製図の概要 2 Auto CADの概要 4 CADの基本操作 6 CADの基本操作 8 テンプレート 2 修正コマンド 8 一面図 6 二面図 三面図他 6 縮尺・倍尺 2 ブロック 4 レイアウト 6 その他 関連科目 卒業研究、企業課題 ※実務経験のある教員が担当する科目である

2020年度 年 度 科目コード C-SS07

シラバス(授業概要)

時間数は45分換算

学科・コース

情報特別講義IV

授業科目名

講義・演習

授業形態

コンピュータ科

履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位	数	担当教員
2	後期	選択	60	2		渡邉 尚明 吉田 文昭

授業の目的・目標

基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、ITパスポート試験、MOSの合格を目指した対 策授業である。

授業の概要

授業はすべて受験対策の授業となる。基本情報技術者試験を受験する場合は、午前免除試験合 格クラスと合格していないクラスに分かれる。授業は他の学科との混合クラスとなる。

成績評価の方法

出欠席及び合格することなどで評価する。

試験結果

20%

出欠席 80%

使用テキスト・教材

基本情報技術者試験問題集、ITパスポート試験問題集

応用情報技術者試験問題集、MOS攻略問題集

授業内容・授業計画

	時間数		時間数
基本情報(午前、午後とも受験)		ITパスポート対策	60
午前問題対策	30		
午後問題対策	30	MOS対策	60
基本情報(午後のみ)			
アルゴリズム対策	15		
言語対策	15		
午後分野対策	15		
基本情報(午前、午後とも受験)			
午前問題対策	30		
午後問題対策	30		

その他 関連科目

情報特別講義Ⅲが終了後、情報特別講義Ⅳを実 情報特別講義Ⅱ、情報特別講義Ⅳ 施する。

							度	2020年		
				45分換算 科目コー						
授業科目名			授	受業形態 学			学科	科・コース		
CompTIA特別講義			講	講義・演習			コンピュータ科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間]数 単位		立数				
2	後期	選択	6	0	\$ 2	2				
授業の目的	▪目標									
情報処理ではた	指す。	A試験の合格を	目指す	ための利	斗目であ	っる。Co:	mpTIA	の上位資格で	ある「A	
授業の概要										
CompTIA試験の対策授業を行う。 成績評価の方法										
	**	どで評価する。)					試験結果	20%	
	出 欠 席								80%	
休田ニナフ	L _ ##++									
	使用テキスト・教材									
授業内容・持	受莱計画		n土 日日 火/.						n+ 88 坐/	
CompTIA試場)		時間数 60						時間数	
その他				関連科目						
				情報特別講義Ⅱ、情報特別講義Ⅳ						

	年			年	年 度 2020年度						
			間数は			科目=	目コード C-SS09			9	
授業科目名				美米形	態		学科・コース				
卒業研究			講義・演習			コンピュータ科					
履修学年	履修学期	必修・選択	時間	引数 単位		边数	担当教員				
2	後期	選択	12	20	8	8 渡邉 尚明吉田 文明					
授業の目的											
授業の概要		として、グル・									
テーマは、主に基本システム開発・応用システム開発・シミュレーションなどで、システムを 作成し、それを卒業論文にまとめ発表する。											
成績評価の	**	業論文、発表に	ァトルョ	亚年 :	<u> </u>		T				
てきめかろに	ンハノム、平	未픎人、光衣(により言	干1四9~	ο°			シス	テム	60%	
								論	文	20%	
								発	表	20%	
使用テキス	ト・教材										
授業内容・抗	受業計画										
			時間数							時間数	
基本設計、概要		計	40								
システム作成	、論文作成		80								
—										!	
その他				関連	科目						

						年	度	2020年	度		
				45分換		科目コード C-SS1			0		
授業科目名			授	受業形態			学科・コース				
インターンシップ			講	講義・演習			コンピュータ科				
履修学年	履修学期	必修・選択	時間	引数	単位	拉数	担当教員				
2	後期	選択	12	20	8	3					
授業の目的											
科目である。		ターンシップ(こ来て [®]	もらい7 	たいとり 	ヽう 依東 	頁があっ 	たときに対応	でする 		
授業の概要		ナッ									
企業のインタ		ある。									
成績評価の	**	7					Ī				
出欠席と企業	側の評価によ	る 。						出欠席	70%		
								企業評価	30%		
使用テキス	ト・教材										
授業内容・技	受業計画										
			時間数						時間数		
インターンシップ	J.		120	即浦	秋 日						
その他				関連	科目						

L